

## ロシア（極東）

### 2003年上半期のロシア極東経済

2003年1 - 6月の極東鉱工業生産は前年同期比で1.6%増え、他の連邦管区より最も低い成長率となった。州別で見ると、マガダン州（23.0%）チュコト自治管区（9.6%）及びハバロフスク地方（6.6%）の3地域では生産が減少した。ユダヤ自治州（10.0%）及びアムール州（9.4%）の伸びが目立ち、サハ共和国及びサハリン州のような生産高が変わらない地方もあった。小売売上高の伸び率では、極東がウラル連邦管区に次いで2位を占め、全国平均を上回った。消費者物価は、高い上昇を見せたチュコト自治管区以外は全国平均前後であった。雇用状況は悪化してきたが、全国では失業者数が約14%増えたのに対し、極東地域でその増加率は3.5%にとどまった。なお、チュコト自治管区、マガダン州、サハ共和国及びハバロフスク地方では失業者数が減少した。国民生活水準については、2002年5月から2003年5月までの間、実質貨幣収入は全国平均の18.7%増に対し、極東では24.8%増加した。特に沿海地方及びハバロフスク地方が高い伸びを記録し、それぞれ31.9%と27.4%であった。

### ブレヤ水力発電所の稼働

2003年6月30日にアムール州のブレヤ水力発電所の第1号機が稼働した。7月9日に行われた稼働記念式典にはプーチン大統領、関係省庁大臣、ロシア統一電力システム社の幹部、極東南部の各地方知事らが参加し、極東ロシアだけでなく、ロシア経済にとって非常に重要な出来事となった。

ブレヤ水力発電所の建設プロジェクトは、長い歴史を持っている。1976年に準備作業に入り、1985年にダム建設に着手したが、ソ連崩壊後の経済混乱により1993年から国家による融資がなくなり、建設作業は完全に停止した。しかし、

ロシア統一電力システム社は、ブレヤ発電所建設を優先プロジェクトに位置付けて、2000年から投資を開始した。2003年の総投資額の40%は、このプロジェクトに投入する予定である。また、ロシア鉄道省も将来電力料金割引を受けるという条件で、2000 - 2001年に15億ルーブルを投資した。今年の12月に2号機が稼働予定であり、その後順次整備を進め、2006年に最後の6号機が稼働して2007年には全ての建設作業を完了する計画である。

現在、極東地域は、ロシア西部の電力網から事実上分離した状態にある。また、燃料需給に占める地域外からの移入石炭の割合は40%に達し、その価格の50 - 70%は輸送費である（平均輸送距離は3,000 - 3,500km）。その結果、平均電力料金は1.21ルーブル/kwhで、全国平均の0.72ルーブル/kwhよりずっと高く、地域経済発展の障害となっている。1号機の稼働だけでアムール州、ユダヤ自治州、ハバロフスク及び沿海地方では電力料金を7 - 10%引き下げることが可能となった。全体の建設完了時には、発電所の出力は200万kW、平均年間発電量は71億kWhに達する。2007年の石炭の移入量は現在より520万トン減少、費用は47億ルーブル減り、電気料金はさらに低下すると思われる。また、この発電所の完成により、電力不足の極東南部、特に沿海地方での電力供給は安定する。ゴルベンコ・ブレヤ発電所株式会社社長によると、電力の40%が沿海地方、30%がハバロフスク地方、約15%がアムール州で消費される。残りの15%を中国に供給する予定であり、すでに中国側との交渉が行われている。

このように、ブレヤ発電所の建設完了は、電力供給の安定化、電力料金の値下げ及び輸出拡大などの経済活発化の効果がある。さらに、地方及び国家予算の歳入増加や、雇用機会の増大も期待され、社会的な影響も大きい。

（ERINA調査研究部研究員 ドミトリー・セルガチョフ）

	鉱工業生産 (2003上半期) [前年同期比]	小売売上高 (2003上半期) [前年同期比]	消費者物価 (2006年12月) [前年12月比]	実質貨幣収入 (2003年5月) [前年5月比]	失業者数 (2003年5月) [前年5月比]	参考：地域総鉱工業生産 (2002年) [対全国比(対全地域比) %]
サハ共和国	0.2	13.2	7.7	25.7	7.1	1.10 (27.65)
沿海地方	2.5	20.5	7.4	31.9	12.0	0.71 (17.76)
ハバロフスク地方	6.6	14.1	9.8	27.4	2.9	1.13 (28.34)
アムール州	9.4	4.2	8.4	22.6	3.6	0.20 (5.12)
カムチャッカ州	5.5	1.9	6.6	16.5	4.7	0.28 (7.00)
マガダン州	23.0	8.6	4.2	11.4	8.2	0.17 (4.40)
サハリン州	0.6	13.3	7.9	23.5	0.0	0.32 (8.15)
ユダヤ自治州	10.0	6.6	7.0	6.5	7.1	0.03 (0.66)
チュコト自治管区	9.6	31.6	14.6	0.6	9.1	0.04 (0.91)
極東	1.6	13.6	7.7	24.8	3.5	3.97 (100.00)
ロシア連邦	6.8	8.9	7.9	18.7	13.8	100.00

出所：ロシア国家統計委員会、「ロシア連邦管区の社会経済状況」四半期報、6号、2003年。